



江東区議会公明党

このきよふみ通信

2021年第33号

＜発行責任者＞江東区議会公明党

第3回定例会が終了しました。今回の定例会では令和2年度に執行された予算の審査(決算審査)があり、質問を重ねてきました。また新年度(令和4年度)予算に反映できるように要望もしてまいりました。今回、決算審査での質問の内容や要請活動、地域でのお声の前進などをご報告させていただきます。

新年度予算要望書を区長に提出

9月7日、**令和4年度予算要望書**を江東区長に提出致しました。
今回は防災、子育て、福祉、教育、健康、まちづくりなど**488項目**を**要望**しました。



信号機の早期設置の要望書を警視庁に提出

10月11日、子どもたちの通学路でもあり、地域から安全対策のお声をいただいていた**新砂3丁目と南砂3・7丁目の交差点へ早期に信号機の設置**を細田いさお都議とともに警視庁へ要望致しました。



2022年1月から区立公園を全面禁煙へ

建設委員会で区立公園及び児童遊園の禁煙についての条例改正が提出され可決。
本会議でも可決成立し、先に禁煙化された児童遊園とともに2022年1月から区立公園も全面禁煙になります。



新型コロナワクチン接種関連情報



区民相談は『このきよふみ』まで
お気軽にご連絡ください!
連絡先: 080-9804-7350



令和2年度決算審査の質問より

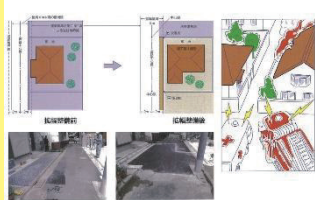
やさしいまちづくり施設整備助成

オリパラ後も江東区の店舗等のバリアフリーを進めていくべきである。改修工事だけではなく、簡易スロープなどメニューを増やして、使いやすい制度にしていけるべきである。



細街路拡幅整備助成

道路の幅員が4m未満の細街路を拡幅整備することで良好な住環境の確保と災害に強いまちづくりを実施され、毎年目標に近い事業が推進されている。この事業は建物所有者の申請が必要で、未整備のままのところもある。今後わかりやすい周知をしてさらに事業を推進してほしい。



私道整備助成

私道及び私道内下水管が老朽化している場合、江東区の助成を申請して工事を行っている。現在年間上限が600万円であるが、最長で6年かかる工事もある。申請件数も増加して需要が高まっており、今後は予算額及び上限金額の増額をしていくべきである。

信号機のない横断歩道

今回43年ぶりに警察庁の教則の改定があり、手上げ横断が明記され、信号機のない横断歩道では、手を上げて運転者に意思を表すことが勧められる。本来は横断歩道では歩行者がいたら車はその前で一時停止しなければならないが、現実には車優先になっている。今後、歩行者優先など交通安全をしっかりと啓発していただきたい。



SOSの出し方教育

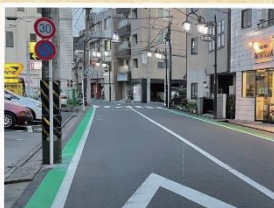
SOSの出し方教育の目的は、①身近にいる信頼できる大人にSOSを出すこと、②身近にいる大人がこどものSOSを受け止め支援ができるようにすること、③心の危機に陥った友達への関わり方を学ぶことである。とくにSOSを受け止める側の教員や保護者がしっかりと支援ができることが大事であり、今後でも取組を進めてほしい。

SNSを活用した相談

10歳代の若者は電話で話よりSNSでのやりとりの時間の方が長いと言われている。令和2年度から通年でのLINEでの相談が実施されて成果が出ていると思う。しかしスマホを持たない子どももあり、今後ネットでチャット相談ができるQRコードを読み取る方法もあり、ICTを活用した相談体制も検討してほしい。



お声が前進しました



南砂6丁目に保育園があり、信号機のない横断歩道で車が停まってくれないため渡りづらいとお声がありました。今回路側帯を緑色に塗装していただき、横断歩道付近の注意を促すことになりました。



国が所有する道路が老朽化してくぼみが目立ち、高齢者が転倒しているので改善してほしいとお声がありました。国は維持管理の予算がないため、区の担当部署にアドバイスをいただき、くぼみを埋めました。



砂町中学校の裏門に入る歩道部分の縁石がぐらついており、車の出入り時に音がうるさいとお声がありました。今回歩道部分をしっかりと舗装し直し縁石が動かないようにしていただきました。



仙台堀川公園をコロナ禍でマスクなしでジョギングしている人がいて、不安を感じているとお声がありました。今回ランニングの際に人がいる場合のマナー啓発の看板を公園入口に設置していただきました。